

トピックス

臨床研修指導医養成講習会開催される

ドックMMC ~50cmの信頼~
最終回収録が行われました!

~おめでとうございます~
卒後臨床研修評価機構の認定
~松阪中央総合病院~

「東海三県へき地医療研究会」
小西康信先生(紀南病院)一般演題優勝!

情報コーナー

- ☆平成21年度 新採用研修医オリエンテーション
- ☆平成21年度 輸液セミナー

臨床研修指導医養成講習会開催される

1月29日~31日、2月12日~14日の両日程で、志摩市にあるホテル近鉄アクアヴィラ伊勢志摩において、第7回、8回MMC臨床研修指導医養成講習会が開催され、それぞれ48名、47名の参加者に内田理事長より修了証書(平成21年4月より必修化)が手渡された。今回で合計8回となるこの講習会は、参加者による参加者のための参加型のワークショップ形式で行われた。2泊3日のタイトな時間に寝食をともにしながら、普段はあまり交流のない他の病院や診療科、あるいは年齢の離れた参加者が、日常を離れた作業を通じて研修医指導への理解を深め、さらには自らの医療や生き方を今一度考えるリトリートの時間として、風光明媚な英虞湾に浮かぶ会場でさまざまな体験をした。開会式に続く自己ならぬ他己紹介では、二人ペアでの短時間でのお互いの情報交換にもかかわらず、相手のユニークな紹介が笑いを誘っていた。その他、KJ法をもちいた研修ニーズの抽出、そこから生まれる目標に対しての研修カリキュラム作成、なれない用語に戸惑いながらも、タスクフォースの助言を得ながら作業を進めていった。2日目朝は恒例の“ロールプレイ”による“指導医のあり方”セッション。時に笑いを誘いながら、研



修医役や指導医役を演じる中で、指導医のあり方についての議論を行った。夜の懇親会では、まさに旬の志摩の魚介類を集めた料理に舌鼓をうちながら、県や大学の枠組みを超えた参加者の交流を深めていった。「三重の感想は?」と聞かれた県外からの参加者へのインタビューでは、「まだ三重の土を踏む時間がありません!」との返答が会場の笑いを誘っていた。最終日には、2日間で討論した問題点を現場でどのように対処していくかという現場ノウハウを中心に議論を行い、3日間の日程を終了した。

臨床研修制度や指導医の資格要件についても、いろいろ議論がされているところではありますが、制度がどのようにかわろうとも、「後進を育て、自らも学ぶ」という医師の役割を今一度思い返し、県内外の指導医の貴重な交流の場として、今後とも指導医講習会を充実させていきたいと考えております。3日間参加いただいた参加者の皆様と、全国で同様の講習会が毎週のように開かれている中、遠路MMCの講習会にお手伝いいただいた、県内外の講師の先生方に、改めて御礼申し上げます。



ドックMMC ~50cmの信頼~ 最終回収録が行われました!



まさにNPO法人MMC卒後臨床研修センターが産声を上げた年である平成16年7月よりお送りしてきました、FMラジオ番組「ドックMMC~50cmの信頼~」が3月末でいよいよ最終回を迎えることになり、その最終収録が行われました。ドックMMCは臨床研修制度の開始当初より地域の方々に医療や臨床研修に理解を深めてもらい、同時に研修医のみなさんにも将来の自分に向けてメッセージとして「ドックMMC宣言」をしてもらうという、ユニークな企画としてお送りしたこの番組は県内のみならず県外からも注目され、昨年学会誌の論文として発表された他、今秋には中部地方の企業広報担当者を対象としたセミナーでの講演も予定されています。最終回の収録には、今まで番組を裏方で支えてきた歴代スタッフが勢揃いし約6年間の放送を振り返りました。最後のドックMMC宣言ではたくさんの懐かしい思い出に思わず言葉につまる場面もありましたが、なんとか無事収録を終えることができました。番組は終わりますが、医療、臨床研修と社会との相互理解、研修医の社会や自分自身へのコミットメントの重要性といった番組の理念は今後ともかわらないどころか、ますますその重要性を増しています。NPO法人MMC卒後臨床研修センターでは、それらの理念をもとに新たな取り組みをさらに進めて参りたいとおもいます。247回にわたり番組を支えて頂いた聴取者の皆様、また忙しい研修の合間に出演を快諾いただき、楽しい話をきかせていただいた研修医のみなさん、指導医はじめ関係者のみなさん、そして、1回も欠かすことなく研修医の話を盛り上げて、医療や研修の大切さを発信してくださった、パーソナリティの小畑美奈子さんにあらためて感謝いたします。ありがとうございました。



~おめでとうございます~ 卒後臨床研修評価機構の認定 ~松阪中央総合病院~

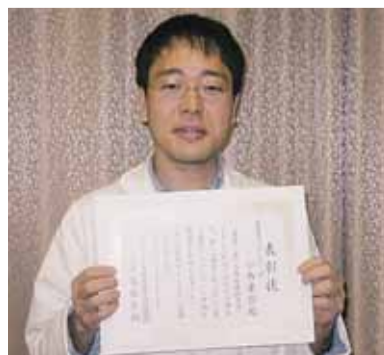
三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院は、NPO法人 卒後臨床研修評価機構より、2009年3月1日付け認定証が発行されました。

三重県内5番目、全国でも58番目の認定です。



「東海三県へき地医療研究会」 小西康信先生(紀南病院) 一般演題優勝!

へき地医療への取り組みを知り、問題提起や情報交換などの連携とともに、へき地医療に対する関心を高め、より良いへき地医療の未来像を探ることを目的として、愛知県・三重県・岐阜県のへき地医療支援機構が主催、2月22日愛知県医師会館にて開催されました。一般演題の部で7題発表があり、参加者60名の投票により見事、「紀南病院での地域医療研修から」の演題にて、2日目研修医小西康信先生が優勝されました。



MMC卒後臨床研修センターは「三重県内の医療人材の確保・育成(卒後研修)と地域医療の充実」を目的にNPO法人と設立して6期目を迎えます。これからはもっと地域基盤型NPOのネットワークを活かし、県の枠を越えて交流を図ることが重要と感じました。

情報コーナー

平成21年度 NPO法人 MMC卒後臨床研修センター

新採用研修医オリエンテーション

日時 ◆ 平成21年4月2日(木) 8:50~
場所 ◆ 三重大学 三翠ホール 小ホール

日程表		
時間	内容	講師
8:30~	受付	
8:50~9:00	主催者あいさつ	
9:00~9:50	「三重県の医療について」	三重県健康福祉部 西口 裕 先生
9:50~10:00	休憩	
10:00~11:30	「新臨床研修制度を利用して理想の医師になる」	東海北陸厚生局健康福祉部 医事課 臨床研修審査専門官 安田 あゆみ 先生
11:30~12:00	休憩	
12:00~12:50	ランチョンセミナー 「研修医時代、ここで違ってくる ~日米、医の基本の学び方~」	聖路加国際病院 田中 まゆみ 先生
12:50~13:00	弁当回収	
13:00~14:40	安全で快適な病院を目指して 「元気の出る セーフティーマネジメント」	赤穂市民病院 院長 邊見 公雄 先生
14:40~15:00	休憩	
15:00~17:00	「患者中心の医療とは」	NPO法人ささえあい 医療人権センター-COML 理事長 辻本 好子 先生

ランチョンセミナーは入り口で弁当を配布いたします。会場内は禁煙です。平成21年度新採用研修医を対象としたオリエンテーションですが、ご興味のある方はお気軽にご参加ください。参加費無料です。

平成21年度 輸液セミナー

〈北勢地区〉
四日市都ホテル
近鉄四日市駅前

〈中南西地区〉
松阪フレックスホテル
近鉄松阪北口

〈時間〉 19:30~21:00

入場無料・事前申込不要です。
お気軽にご参加ください。

